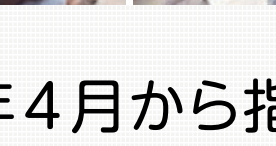




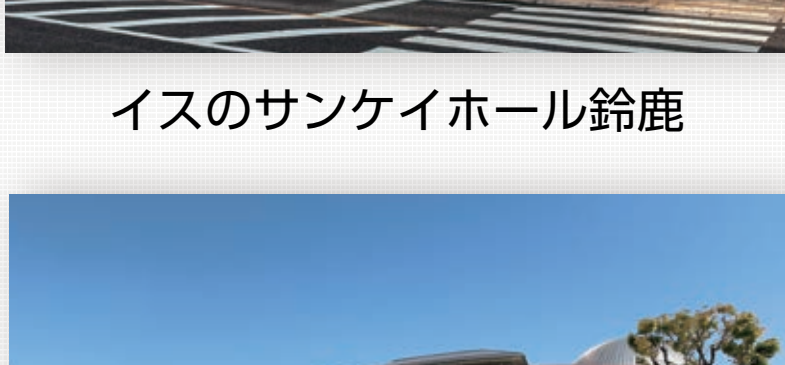
もっと楽しく、もっと身近に

## みんなの文化施設

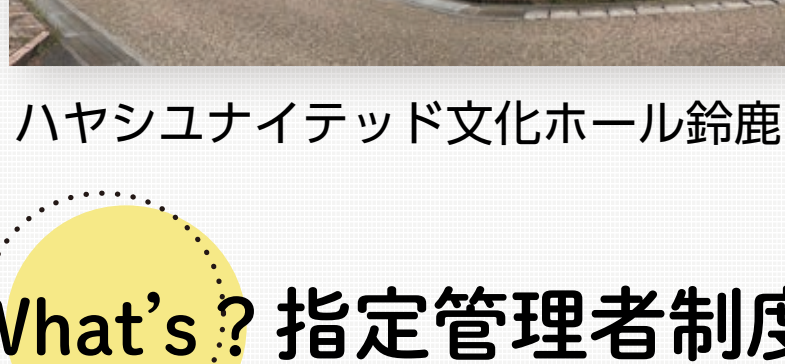


令和6年4月から指定管理者制度を導入したイスのサンケイホール鈴鹿（市民会館）とハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（文化会館）。指定管理者の「鈴鹿アートライフデザイン」が本市に代わり、施設を管理・運営しています。

今回の特集では、民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上を図り、より良い施設を目指す両施設の取り組みを紹介します。



イスのサンケイホール鈴鹿



ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿

## What's? 指定管理者制度

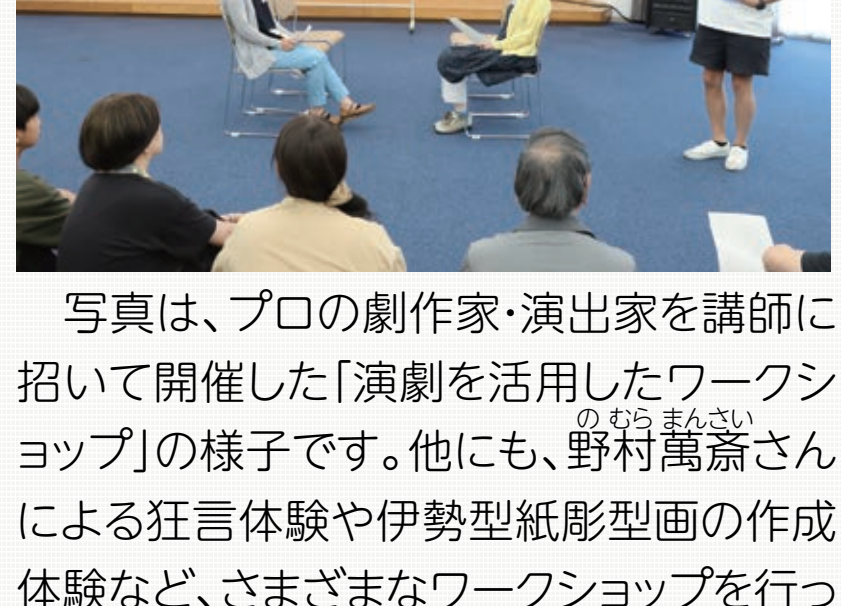
指定管理者制度は、公共施設の管理・運営を民間事業者に任せることができる制度です。公共施設の管理を委ねる事業者を指定管理者と呼びます。

多様なニーズに効果的・効率的に対応するために、民間のノウハウやアイデアを生かすことで、サービスの向上や経費の削減につながります。

## What's? 鈴鹿アートライフデザイン

本市に代わり、文化・教養活動の拠点の両施設を管理・運営している指定管理者。多種多様な文化事業を展開し、地域の文化人の育成に力を入れています。

ぜひ施設に遊びに来てね!

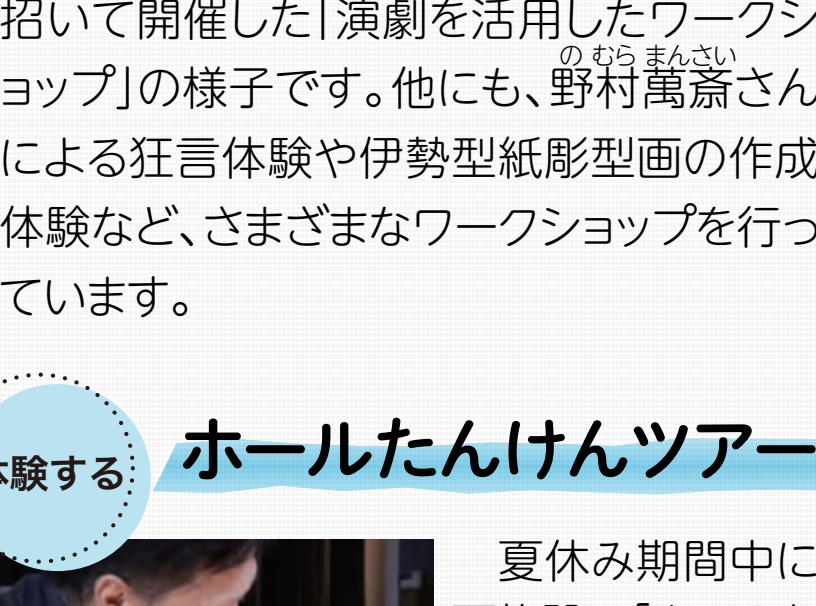


### みんなが楽しめる企画

来館する皆さんが楽しめる施設を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

参加する

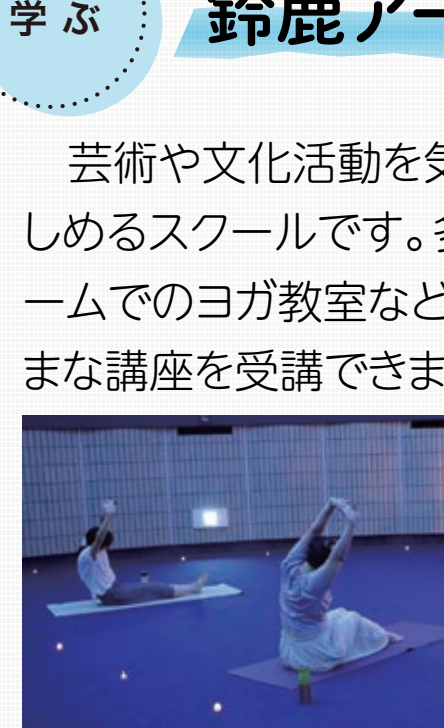
### ワークショップ



写真は、プロの劇作家・演出家を講師に招いて開催した「演劇を活用したワークショップ」の様子です。他にも、野村萬斎さんのむら まんさいによる狂言体験や伊勢型紙彫型画の作成体験など、さまざまなワークショップを行っています。

体験する

### ホールたんけんツアー



夏休み期間中に、両施設で「ホールたんけんツアー」を行いました。参加したこどもたちは、照明や音響、舞台監督やアナウンスなど、ホールや舞台裏のさまざまな仕事を体験しました。

体験者の声

舞台監督のお仕事を体験しました。自分がみんなをまとめることに緊張しましたが、音響さんなどに指示を出すのが楽しかったです。

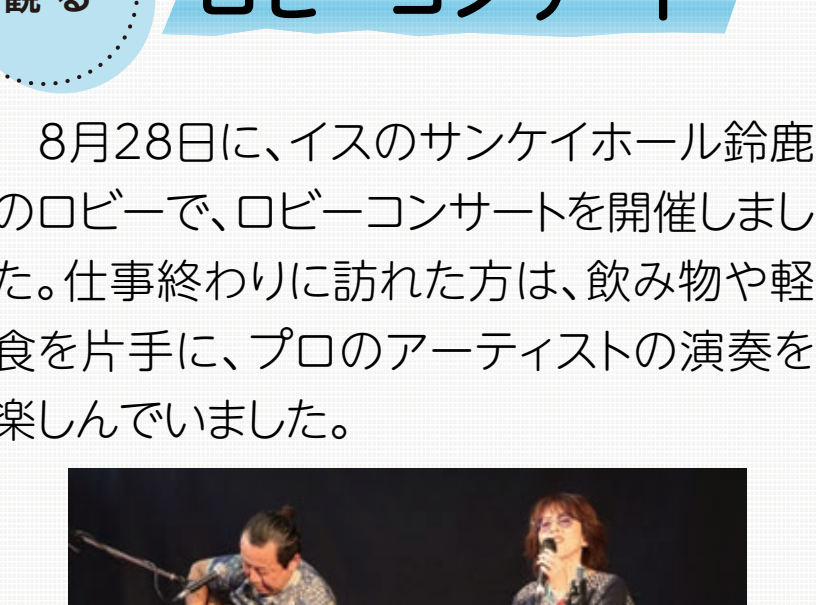


学ぶ

### 鈴鹿アートスクール

芸術や文化活動を気軽に楽しめるスクールです。多目的ドームでのヨガ教室など、さまざまな講座を受講できます。

詳しくはウェブサイトで



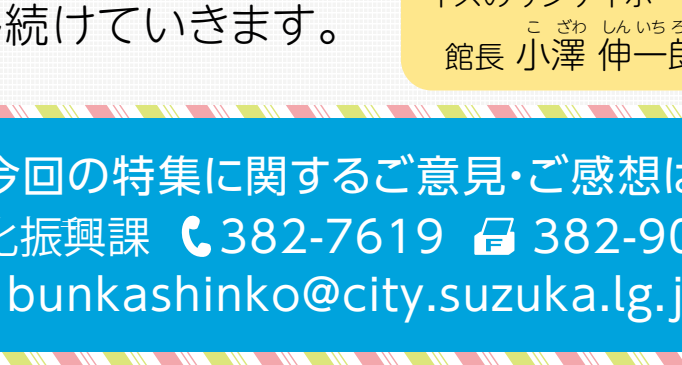
ヨガ受講者の声

異空間でのヨガで、心も身体もリフレッシュできます。

観る

### ロビーコンサート

8月28日に、イスのサンケイホール鈴鹿のロビーで、ロビーコンサートを開催しました。仕事終わりに訪れた方は、飲み物や軽食を片手に、プロのアーティストの演奏を楽しんでいました。



11/13(木)  
12時から

次回のロビーコンサート

「南国の風～琉球のやさしさを感じて～」

三線の音色をお楽しみください。

イスのサンケイホール鈴鹿  
館長 小澤 伸一郎さん

今回の特集に関するご意見・ご感想は  
文化振興課 ☎ 382-7619 ☎ 382-9071  
bunkashinko@city.suzuka.lg.jp

# さあ、人生会議を始めましょう



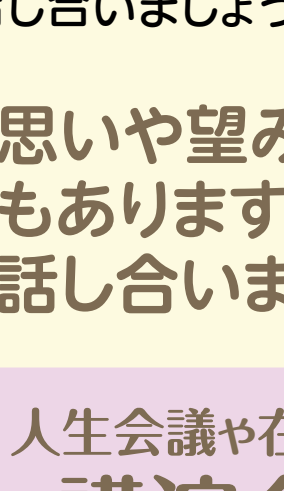
## それぞれの想いを共有する、人生会議

皆さんは、残された人生をどのように過ごしたいか、どんな医療や介護を受けたいか、周囲の人と話し合ったことはありますか。

「もしも」の時のために、自分自身が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と言います。誰でも、いつでも、命に関わる病気やけがをすることがあります。そのような状況になった時に、医療やケアについて、人に望みを伝えることは難しくなります。そのため、あなたや大切な人同士が、価値観や気持ちを共有しておく「人生会議」を行うことが、もしもの時の助けになります。

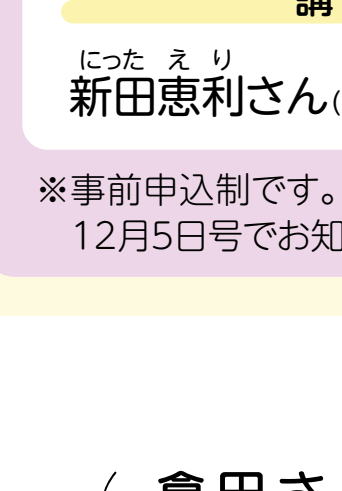
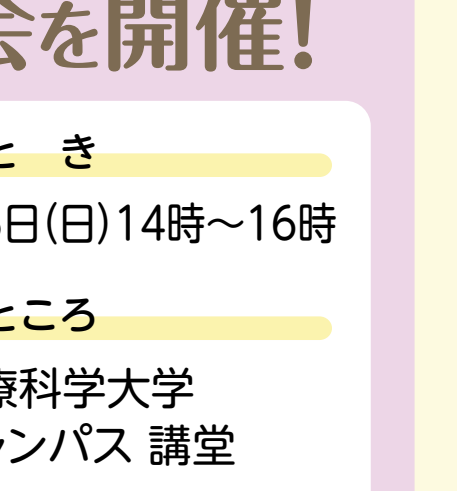
自分が大切にしていることや、どのような人生を歩み、どのような医療やケアを受けたいか、信頼できる人たちと話し合ってみましょう。

## どうやって始めるの？ 人生会議の進め方



あなたが大切にしていることは何か考えてみましょう

もしものとき、あなたの思いを代弁してくれる人を考えましょう



健康について考え、主治医に相談してみよう

自分の「望み」を大切な人に伝え、希望する医療やケアについて話し合いましょう



**思いや望みは変わることもあります。繰り返し話し合いましょう。**

## 人生会議や在宅医療についての講演会を開催！

と き

令和8年1月25日(日)14時～16時

と ころ

鈴鹿医療科学大学  
白子キャンパス 講堂

講 師

にっ た え り  
新田恵利さん(元おニャン子クラブ) ほか

※事前申込制です。詳細は、広報すずか12月5日号でお知らせします。

（倉田さん親子の）

## 人生会議



倉田賀子さん・裕次さん

市内の自宅で療養生活を送っている倉田賀子さん（89歳）が、今後の療養生活をどう過ごしていくか、県外在住で息子の倉田裕次さん（56歳）と一緒に、かかりつけ医や医療・介護の専門職の方を交えて、人生会議を行った感想を伺いました。

## 倉田さん親子にインタビュー

### —人生会議ではどんなことをお話ししましたか？

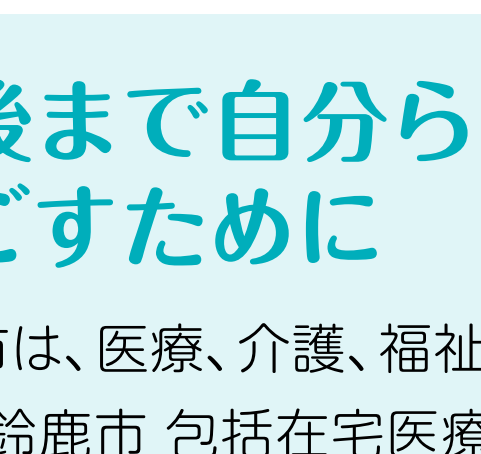
**裕次さん**：日頃から母の療養生活に携わっているかかりつけ医の先生や専門職の皆さんと、これまでの母の経過を振り返りながら、日常の様子を共有したり、今後の療養生活について話し合ったりしました。

### —人生会議を行ってみてどうでしたか？

**賀子さん**：療養生活にとっても満足しており、自宅で過ごす今の生活をできる限り続けたいという思いを伝えられて良かったです。

**裕次さん**：母に携わってくださる皆さんと、母の状態を共有できて良かったです。デイサービスなどのアドバイスもいただき、今後の療養生活の展望が見えました。

## かかりつけ医の感想

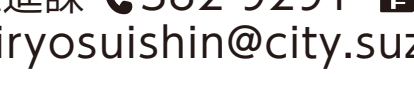


留奥内科 院長  
とめおく まこと  
留奥 誠さん

普段の診療の中で、倉田さん親子と対話をしています。今回人生会議を行うことで、日常生活のことなど初めて知ることもありました。倉田さん親子の思いを受け止め、できる限り今の生活を続けていけるように、さまざまな専門職の方と力を合わせ、かかりつけ医として支えていきたいと思っています。

## 専門職の皆さんの感想

訪問看護



倉田さん親子の思いを聞くことで、気持ちに寄り添いながらケアをする大切さを実感しました。医療行為を行う立場として、皆さんと健康状態を共有できて良かったです。

ヘルパー



日常生活のお手伝いをしています。できることは自分でやりたいという賀子さんの思いを大切に、やりたいことにチャレンジできるようサポートしたいと思いました。

薬剤師



薬がしっかりと飲めているのか、今の服用ペースで問題がないかなど、賀子さんの日頃の様子を細かく知ることができ、薬剤師として暮らしに寄り添うことの大切さを実感しました。

ケアマネジャー



療養生活にリハビリのデイサービスを取り入れるなど、賀子さんの新たな取り組みを検討するきっかけになり、支援の幅が広がりました。

## 最後まで自分らしく過ごすために

本市は、医療、介護、福祉関係の方と「鈴鹿市 包括在宅医療ケアシステム運営会議」を作り、多職種の連携により、人生会議に関する取り組みを進めています。

最後まで自分らしく過ごすために、自分自身が大事にしたいこと、望む生き方について、大切な方たちと、共有してみたいかがでしょうか。

この特集が市民の皆さんにとって、「人生会議」を始めていただくきっかけになればと思います。



地域医療推進課  
なかがわ ち え こ  
課長 中川 千恵子

今回の特集に関するご意見・ご感想は地域医療推進課 ☎382-9291 📠384-5670  
✉chiikiiryousuishin@city.suzuka.lg.jp